

2014年度（平成26年度） JPO派遣候補者選考試験について

2013年12月
国際機関人事センター

2014年度（平成26年度）JPO派遣候補者選考試験について、実施スケジュール、これまでの試験との変更点及び留意点について、次のとおりお知らせします。

JPO派遣選考試験の詳細につきましては、募集要綱の公表（3月上旬予定）までお待ち下さい。

1 実施スケジュール（予定）

募集要綱の公表	2014年（平成26年）3月上旬
募集期間	4月上旬から5月中旬まで
第1次審査（書類審査）結果発表	6月（第2次審査の約1か月前）
第2次審査（面接審査、英語の筆記試験）	7月～8月（予定）
最終結果発表	第2次審査の約1か月後（8月～9月予定）

2 変更点

（1）UNDPを志望する方の選考方法

UNDPを志望する方のみ、選考の段階で外務省に加えて、UNDPも選考に加わる予定です。具体的な選考方法につきましては、3月上旬に発表されます募集要綱においてお知らせする予定にしています。

（2）2014年9月末までに大学院修士課程を修了する方は応募できます。

（「8月」を「9月」に変更）

大学院修士課程を修了していることがJPOの応募要件ですが、応募時点では未修了であっても、2014年9月末までに大学院修士課程を修了していることを要件として審査対象とします。第2次審査の対象者には、大学院修士課程修了後速やかに修了証書の写し等を提出して頂くことになります。

3 留意点

以下は、2013年度試験からの変更ではありませんが、重要な点ですのでご留意下さい。

(1) TOEFLのスコアについて(注1)

TOEFLのスコアの提出は必須です。

ア 2012年5月1日から2014年4月30日までの2年間に受験したものを有効とします。

イ 応募の際にはTOEFLのスコアの写し(注2)を提出いただき、Official Score Reportは、第2次審査の対象者に提出していただきます。
Official Score Report の提出方法は、第2次審査の対象となった方に対して説明します。

(注1) TOEFLのスコアの提出が応募の際の必須要件で、TOEFL以外の語学試験のスコアでは代替できません。

また、TOEFL以外の語学検定の結果や、米国、英国への留学経験をTOEFL受験の代替措置とは認めません。

(注2) TOEFLのスコアの写しとは

TOEFL iBTを受験された場合は、終了後にオンライン上で確認できるスコアを印刷した紙や受験者宛に郵送される Examinee Score Report のコピーです。TOEFL PBTで受験された場合は、受験者宛に後日郵送される Examinee Score Report のコピーです。

(2) 英語の筆記試験の実施

第2次審査では、英語の筆記試験を実施し、英語の職務遂行能力の審査の比重を大きくします。英語の筆記試験では、要約作成や課題作文を予定しています(回答に際してはパソコンを使用)。また、面接審査の際には、英語による応答を取り入れます。

(3) 派遣時期

2014年度JPO派遣候補者選考試験の合格者の派遣開始時期は、原則、最終結果発表から2015年3月31日までです。

(了)